



●この取付け説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

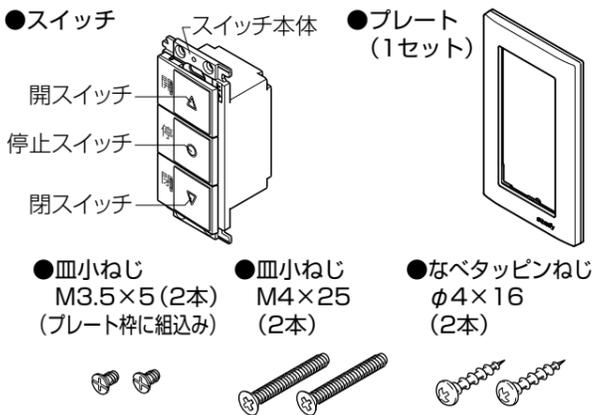
▲注意

- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
- スイッチボックスはスイッチ取付け時、子供の手の届かない高い位置に取付けてください。誤って人物が挟まってケガや故障するおそれがあります。

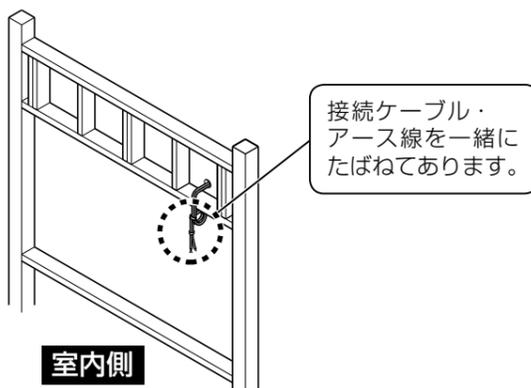
■取付け上へのお願い

- この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。設定前に供給電源が常に定格電圧範囲内(90V~110V)であることをご確認ください。
- PRS仕様の障害物にあたりと停止・反転する機能は、モータ内部電圧の変動を利用した方式を採用しております。そのため、瞬間式の給湯等(瞬間的に電力制御を行う電機機器)とシャッターが同じ電源回路にあると誤作動のおそれがありますので、別の回路にしてください。
- スイッチは「窓シャッターPRS」専用のもをお使いください。壁スイッチ配線前にスイッチの品番を確認してください。(スイッチ本体の裏面に表示してあります。)
- 初回通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。停電時開閉機構操作ハンドルが引けません。
- 1個の壁スイッチで複数のシャッターの開閉はできません。
- 屋外や浴室など湿気が多い場所や暖房器など熱源に近いところへは取付けしないでください。
- 腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所および薬品を常時使用するような場所には取付けしないでください。
- スイッチボックスは、市販品をご使用ください。
- アース工事は忘れずに必ず行ってください。
- スイッチボックスの取付け位置は、「現場打合せ」時に工務店さま(電気工事店さま)に確認しておいてください。
- 壁で埋められる場合を考慮して、スイッチボックスの位置は壁スイッチ取付け時に確認できるように記録しておいてください。
- 接続ケーブルが短い場合は、別途市販品のVVF3芯φ1.6で接続してください。

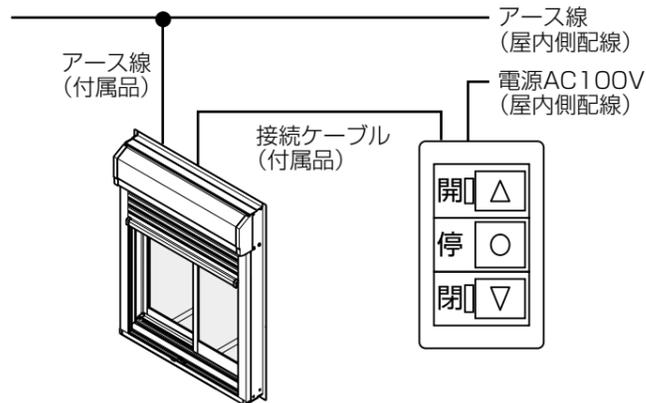
■各部の名称および部品明細



■電気工事店さま引渡し状態

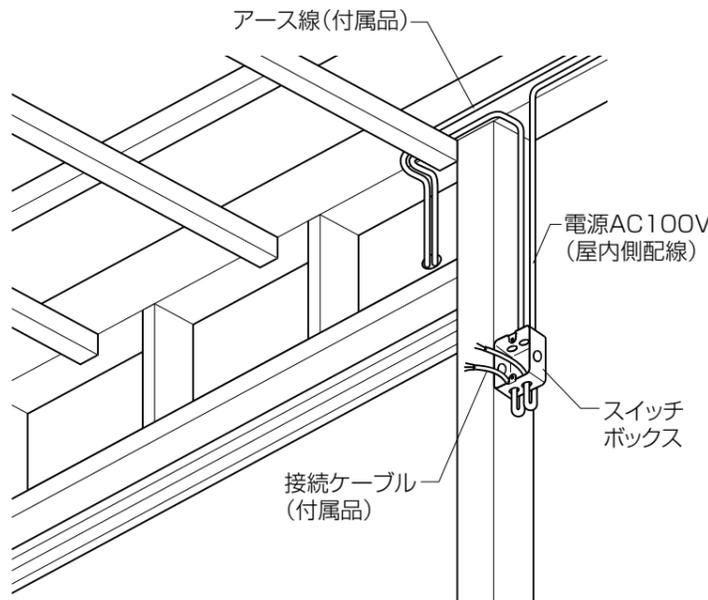


■配線図

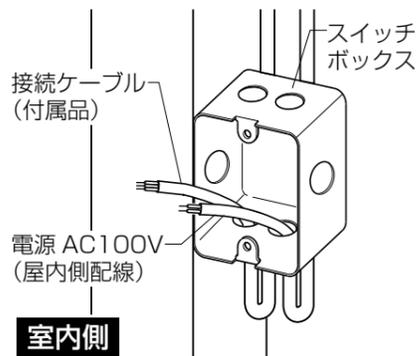


■配線手順

- 右図のように電源AC100V(屋内側配線)・アース線(付属品)・接続ケーブル(付属品)をそれぞれ所定の位置へ配線してください。造作材の貫通および固定作業は、電気工事の有資格者が行ってください。スイッチの取付け方法は、「■取付け順序」を参照してください。
- ※接続ケーブル、アース線、電源AC100Vは、くぎ打ちされないように配線してください。
- ※天井裏の配線が不可で、間柱および柱、ハリに穴をあける場合は、必ず工務店さまの承認を得てください。
- ※壁で埋められる場合を考慮して、スイッチボックスの位置は壁スイッチ取付け時に確認できるように記録しておいてください。
- ※アース工事は忘れずに必ず行ってください。
- ※スイッチボックスの取付け位置は、「現場打合せ」時に工務店さま(電気工事店さま)に確認しておいてください。



- スイッチボックスを使用して取付ける場合は、下図のように配線を行ってください。
- ※室内側から見て、スイッチボックス下面左側の穴から接続ケーブル、下面右側の穴から電源AC100Vを通してください。



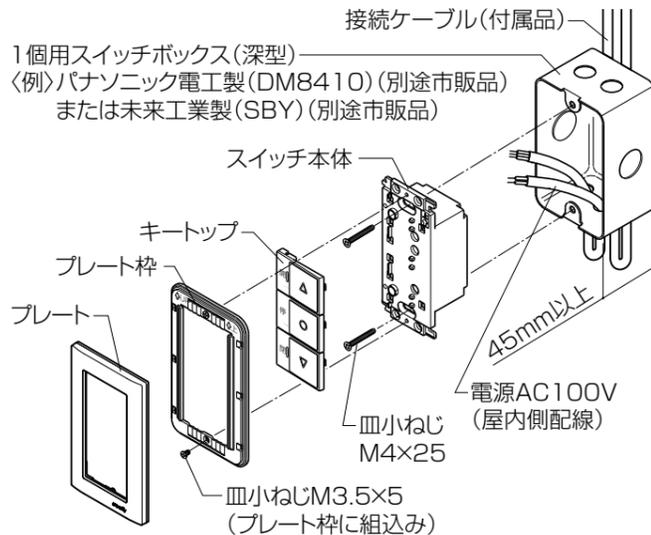
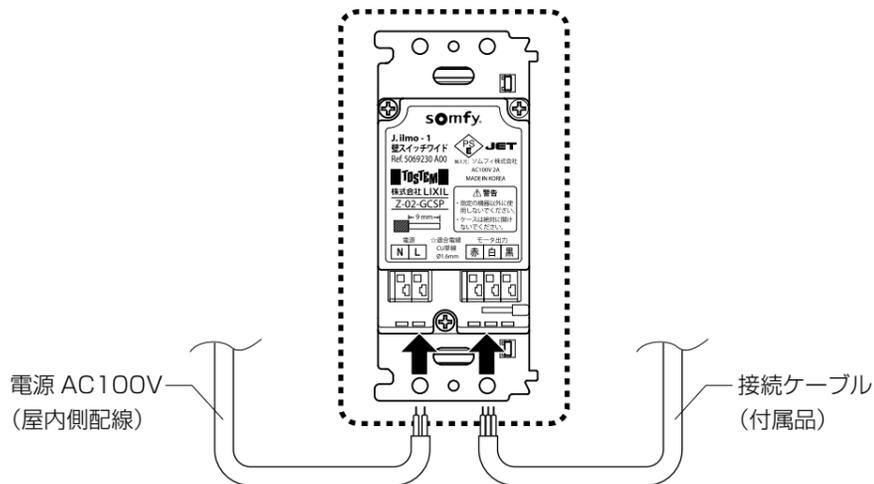
■接続ケーブルおよび電源AC100Vの接続方法

- 接続ケーブルおよび電源AC100Vを壁スイッチのそれぞれの接続端子に差込みます。この場合、接続ケーブルおよび電源AC100Vを引張っても抜けないように差込んでください。
- ※接続ケーブルおよび電源AC100Vを壁スイッチ本体の接続端子に差込む際は、各線の色と接続端子の色を合わせてください。
- ※余計な接続ケーブルおよび電源AC100Vは、壁内で固定するかまたは、切詰めてください。

■取付け順序

■スイッチボックスを使用しての取付け(推奨)

- 本機1個を取付ける場合、1個用スイッチボックス(深型)をご使用ください。
- ※奥行が45mm未満のスイッチボックスを使用した場合、本機は取付けられませんのでご注意ください。
- ※キートップは引渡しの状態では、スイッチ本体にはめ込まれています。スイッチ本体取付けの際、一度取外し、スイッチ本体取付け後、上から開・停・閉の順に付け直してください。



■シャッター設定方法

●設定前に供給電源が定格電圧範囲内(90V～110V)であることを確認してください。

■初期設定操作

①電源の接続

※開ランプ(赤)と閉ランプ(緑)が同時に点滅(およそ1秒間隔)している場合は、手順②『上下限位置設定』に進んでください。

※閉ランプ(緑)のみが点滅(およそ1秒間隔)した場合は、手順②『停電後復帰操作』に進んでください。
(初期設定は完了しています。)

②上下限位置設定

…お願い…
※初回通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。停電時開閉機構操作ハンドルが引けません。

●上下限の停止位置を設定します。

①開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。

※上限の停止位置を正確に出すため、シャッターが全開状態の場合は、閉スイッチ▽を押し、スラットを少し下げた後、開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。

②閉スイッチ▽を押し、シャッターを全閉にしてください。

もう一度開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。

③シャッター全開後、壁スイッチの開閉スイッチを操作して、シャッターをもう1往復してください。上下限位置設定が完了し、開ランプ(赤)と閉ランプ(緑)の同時点滅が開ランプ(赤)の点灯にかわります。

③感度設定

●下限位置での停止感度を設定します。

①上下限位置設定完了後、壁スイッチの開閉スイッチを操作して、シャッターをもう2往復してください。感度設定が完了し、開ランプ(赤)が点灯します。

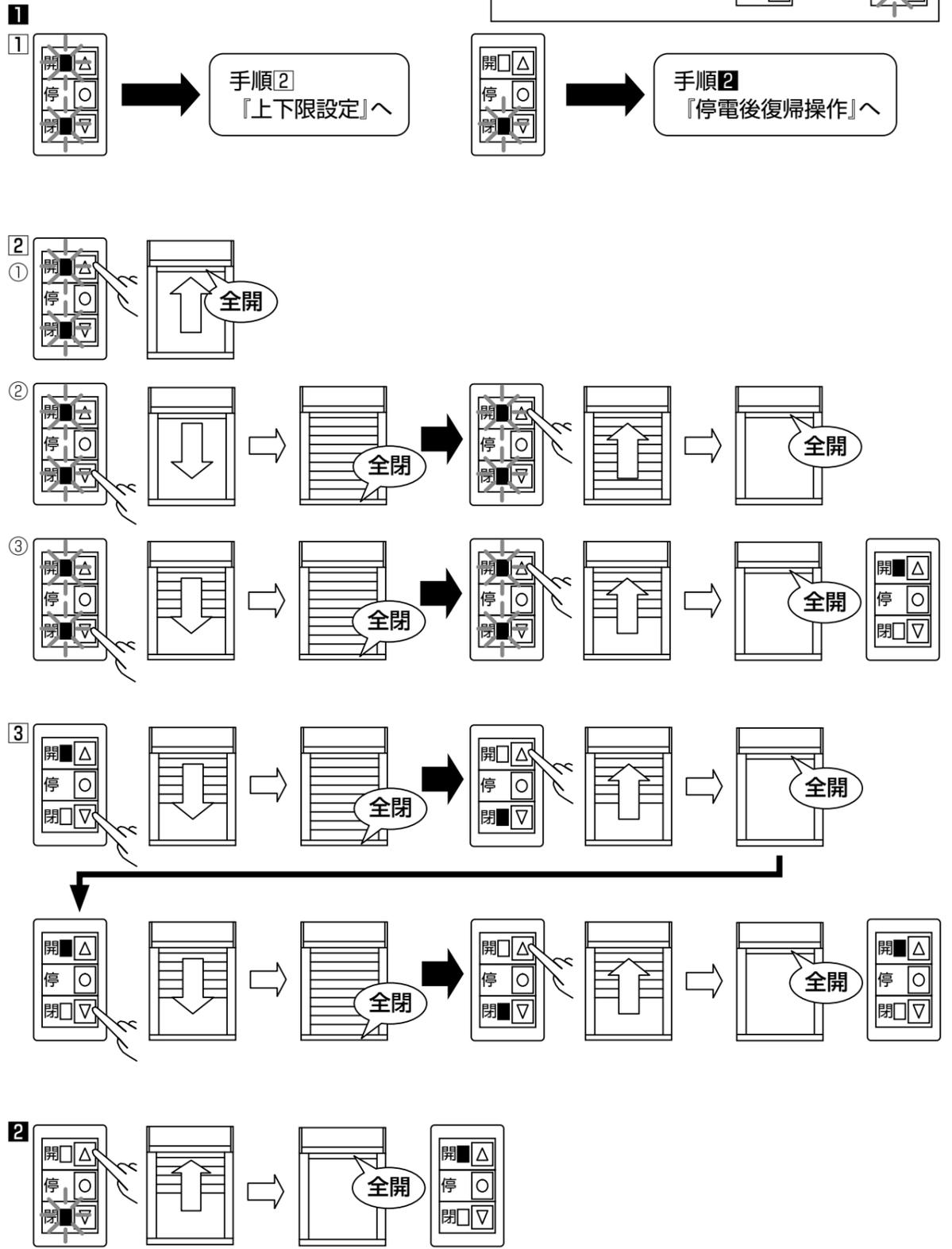
※これでシャッターの設定は完了です。

■停電後復帰操作

●閉ランプ(緑)のみが点滅(およそ1秒間隔)した場合は、以下の手順で点滅を解除してください。

①開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。閉ランプ(緑)の点滅が、開ランプ(赤)の点灯にかわります。

【ランプの表示状態】 点灯：開■△ 点滅：開■△



■ランプの点灯・点滅表示の意味

●ランプの表示で、下記の状態を表します。(速い点滅…およそ0.2秒間隔、遅い点滅…およそ1秒間隔)

状態		表示	開ランプ(赤)	閉ランプ(緑)	状態	解除方法
通常	開	点灯	点灯	—	シャッターが上昇中または下降中、もしくは全開位置にあるときを示します。	—
	途中停止	点灯	点灯	—	シャッターが開または閉の途中で停止中であることを示します。	—
	全閉	—	—	点灯	シャッターが全閉であることを示します。	—
異常	過負荷	速い点滅	速い点滅	—	シャッター下降中に異物(人・物)が挟まれたことを示します。	停止ボタンを押して点滅を解除します。
	タイムアウト時	速い点滅	速い点滅	—	手動開閉状態でスイッチを操作して、約1分モーターを連続動作させたことを示します。	停止ボタンを押して点滅を解除します。緑の遅い点滅になりますので、開ボタンを押して全開位置にいくと通常ランプ表示に戻ります。
	停電復帰時	—	—	遅い点滅	停電復帰後の状態や、全開または全閉に1度もしないで途中停止を5回繰り返したことを示します。	開ボタンを押して、全開位置にいくと通常ランプ表示に戻ります。
	サーマル停止時	遅い点滅	遅い点滅	—	短時間で繰り返し開閉を行うと、保護装置がはたらき、一定時間停止します。	停止ボタンを押して点滅を解除します。※解除をしない場合は、5分程で自然消灯します。
設定	初期設定時	遅い点滅	遅い点滅	遅い点滅	シャッターの設定が完了していない状態を示します。	—

■シャッターの点検

●シャッターの設定完了後、以下の項目について点検してください。

- ①スイッチのワンタッチ操作で、全開・全閉・停止しますか。
- ②ハンドルを引いて、手動開閉できますか。
- ③プレッシャーリターンセンサーは作動しますか。
- ④ロックは施錠できますか。

※②、③、④の点検方法については、「お施主さま用取扱い説明書」をご覧ください。